

# ゼオンメディカル

## 会社紹介

### 【事業内容】

医療機器の製造販売

1989年設立。日本ゼオン(株)が世界で初めて製造承認を受けた「補助人工心臓」の販売を行うために設立されました。その後、研究・開発・製造部門の一貫体制を整えた医療機器メーカーとして、主に循環器系、消化器系の医療機器の製造・販売を行っています。

### 【人員数】

2018年3月末人員数：194名（男性99名、女性95名）

2017年度採用実績：10名（男性5名、女性5名）



ゼオンメディカル研究所・工場

製品イメージ



消化器用オフセットバルーンカテーテル



血管内圧測定用センサー付ガイドワイヤ



胆管用カバードメタリックステント

## 会社方針（トップメッセージ）

当社は、品質方針として以下を掲げ、高品質な製品・サービスに努めています。

1. 私たちは、お客様に満足いただける独自の医療機器を開発し、より良い製品・システム・サービスを提供します
2. 私たちは、医療機器を安心してご使用いただけるよう、継続的に品質を改善し安定供給に努めます
3. 私たちは、CSR基本方針を遵守して、医療の健全な発展と患者様の健康回復に貢献します
4. 私たちは、品質マネジメントシステムを継続的に改善します



柳田 昇社長

## 安全への取り組み

### 【方針】

変化・変更への気づきの能力を高め、安全・安定生産を追究する。

### 【具体的な取り組み】

・ヒヤリハット抽出件数、4ラウンド危険予知活動実施件数を設定した安全活動の実施

## 環境負荷削減の取り組み

### 【方針】

エチレンオキッド使用量、水道水使用量、電力使用量を抑制・削減する。

**【具体的な取り組み】**

**1. エチレンオキッド使用量の抑制**

・生産状況に合わせてエチレンオキッドを使用する滅菌装置の稼働状況を調整

**2. 水道水使用量の削減**

・老朽設備の更新

**3. 電力使用量の削減**

・温度管理設定の見直し  
・不要照明の消灯や間引き

**4. 環境関連データ** (「0」は 0.5 未満、「0.0」は 0.05 未満を示す)

ゼオンメディカル (株)		2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度
PRTR 法対象物質	対象物質数	1	1	1	1	1
	使用量 (トン)	1.6	1.6	1.6	1.6	1.8
	排出量 (トン)	1.6	1.6	1.6	1.6	1.8
産業廃棄物	減容前発生量 (トン)	9	10	8	7	8
	埋立処分量 (トン)	4.3	4.5	0.4	0.0	0.0
水資源 (工業用水+地下水+上水道) 使用量 (千 m <sup>3</sup> )		17.8	21.9	13.5	10.3	11.1
CO <sub>2</sub> 排出量 (トン)		1,123	1,003	920	945	1,010
エネルギー使用量 (原油換算、kL)		539	401	364	380	400

※産業廃棄物の埋立処分量について

産業廃棄物のうち、廃プラスチック (コンテナ) は 100%固形燃料でリサイクルしており、2015 年度は大幅減少となりました。さらなる削減に向けて、2016 年 2 月からは金属類の分別回収を開始しています。

**社員とともに**

**【方針】**

医療機器の提供を通じて人々の QOL 向上<sup>※</sup>に貢献し、会社の財産である社員が誇りとよこごびを共有する。

※QOL 向上=クオリティ・オブ・ライフの向上 (健康回復と活力のある生活の維持・向上)

**【具体的な取り組み】**

・誰もが働きやすい環境づくり  
・適材適所な人員配置

**地域との共生**

工場のある富山県・高岡市を中心に、積極的に地域連携を進める。

**【具体的な取り組み】**

**1. 清掃ボランティア活動**

地域の美化団体主催の海岸清掃イベントに参加しています。

・氷見海岸清掃 (約 5 名参加)  
・伏木国分海岸清掃 (約 5 名参加)

## **2. 近隣地区のゴミゼロ活動への参加**

工場周辺で行われる清掃活動に参加しています(約 10 名参加)。

## **3. 富山県の医療機器産業育成への活動**

地域の企業などで構成される研究会などに参加し、産業育成に協力しています。

- ・とやま医薬工連携研究会、中部経済産業局北陸支局、高岡市産業企画との情報交換やイベントへの参加
- ・富山工業技術センターの研究会への参加